

## 1 指定管理者

指定管理施設名	吉野川市文化研修センター
指定管理者名	特定非営利活動法人 吉野川市文化協会
指定期間	平成30年4月1日から令和3年3月31日まで
業務の範囲	①文化事業の実施に関する事 ②多目的室、研修室等の利用に関する事 ③その他センターの設置の目的を達成するために必要な事業に関する事

## 2 利用者数等の状況

項目(利用人数, 催し物参加者数等, 苦情件数等)	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者数	54,490人	50,370人	53,874人	67,012人
苦情・要望等件数	0件	0件	0件	0件

## 3 施設の利用状況・サービスの提供

評価項目	執行状況及び自己評価(指定管理者記載)
施設等の利用許可(貸館)に関する業務	利用者が安全・安心・快適に施設を利用していただけるよう、施設の管理・保全に万全を期する。今年度は年間6万人以上の利用者がおり、昨年度から大幅に増加している。ネット環境を整えたためパソコン利用団体や県外新規利用者も増加。また、ロビーが「市民の表現の場」として個人・団体の文化活動の場として使用されていることから、別件の施設利用者がロビー展を鑑賞することで施設全体が「コミュニティ形成の場」となっている。地域文化施設として、市民・NPO・企業等さまざまな分野の人々・団体が集い、交流し、情報発信するための地域のナビゲーターになることにより、地域や市民に求められ、なくてはならない存在となっている。
サービスの提供に関する業務	文化事業や文化施設運営の特性を踏まえた評価指標、評価方法を検討し、設定したミッションや目標の達成度などを事業別アンケートにより評価指標の構築を視野に入れ運営。文化施設の有効活用として国立科学博物館より「ダーウィンを驚かした鳥たち」、「日本のノーベル賞受賞者」の巡回展を企画し入館料無料で開催。貸館や講座を通しての市民の文化向上だけでなく、個性ある地域創出、地域の文化力を積極的に施設を活用して施設利用者にサービスを行った。
担当課モニタリング結果	(所管課記載)
評価	多くの講座を開催する中、多様な要望に対応しながら貸館事業を行うなど、積極的に運営している。
指示事項	特になし。

## 4 管理に係る実施状況(施設管理, 事業運営, 指定管理者の継続性・安定性)

評価項目	執行状況及び自己評価(指定管理者記載)
施設等の維持・管理に関する業務	効率的・効果的な維持管理を行うため、高木伐採処理、第二駐車場壁・トタンの塗装、外壁苔落とし、防草シート張り、第二駐車場の砕石整備など敷地内の環境整備を行った。館内は、非常照明器具取替、安全な高所作業用脚立の購入、机の修理、床の剥離作業を行い、エレベーター工事も実施。また、ホール天井の歪み、高圧機器、漏電遮断器などの経年劣化の対応も市へ要望している。メンテナンスサイクルを確実に循環させることで、市民の安全・安心を確保することはもとより、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストを縮減し、予算の平準化を図りたい。
管理執行体制	管理部門・事務部門それぞれの内部組織や部門相互間の連携について、硬直的な組織体制になっていないか常に見直し、判断と決定が現場に即してスピードを持って行われ、双方向で、課題解決型の柔軟な組織体制を構築している。昨年度から実施している業務分担は、貸館事業、講座運営などの市民サービスの向上が図られている。また、文化施設の役割として市民と芸術やアーティストをつなぐことや地域に文化施設の活動を還元していくことを意識し管理運営を行っている。
自主事業に関する事	市民のライフスタイルの多様化・高度化に伴い、豊かな文化的環境が地域社会のなかで大きな比重を占めるようになってきている。そのため、子どもから大人まで幅広い世代が、優れた国内外の芸術文化に親しむ機会、芸術に関する感性や郷土の歴史や文化への理解する機会、市民の学習・鑑賞する機会を企画。また、文化施設の運営に市民が文化ボランティアとして気軽に関心を持って楽しく参加することができる環境づくりを行った。市民文化の創造を積極的に進める取組の重要性を改めて認識している。来年度は15周年記念事業として「共通文化の創出」少数民族モン族との文化交流事業、「原爆の図と文化の図」の展示を計画している。
担当課モニタリング結果	(所管課記載)
評価	多くの講座を開催する中、多様な要望に対応しながら貸館事業を行うなど、積極的に運営している。維持管理についてもコストの節減を行いつつ市民の安全・安心を確保できるよう、設備の改善を行っている。また、部門間の連携を密にしているなど柔軟な組織体制を構築していることが認められる。
指示事項	特になし

5 収支状況(費用効果)

(単位:円)

評価項目	執行状況(指定管理者記載)				
	実績		計画		
経費等の収支の状況	【収入の部】		【収入の部】		
	指定管理料	13,188,000	指定管理料	13,428,000	
	講座受講料収入	11,795,000	講座受講料収入	12,000,000	
	文化研修センター使用料	3,412,520	文化研修センター使用料	3,400,000	
	施設使用料収入	143,000	施設使用料収入	143,000	
	雑収入	186,878	雑収入	200,000	
	繰越金	609,400			
	(繰越額1,377,505円のうち本会計繰越額を除いた額)				
	計		29,334,798	計	
				29,171,000	
経費等の収支の状況	【支出の部】		【支出の部】		
	事業費		事業費		
	講師料	10,055,000	講師料	11,000,000	
	人件費	10,886,157	人件費	11,310,000	
	その他の経費	7,976,019	その他の経費	6,479,500	
	管理費	417,622	管理費	381,500	
	計		29,334,798	計	
				29,171,000	

担当課モニタリング結果		(所管課記載)
評価		経費の節減と積極的な貸館などの努力が認められる。
指示事項		特になし。

6 その他

評価項目	執行状況及び自己評価(指定管理者記載)
来場者からの意見・要望等の対応	貸館事業で県外利用者やパソコン利用者が増加したため、備品利用者が増えプロジェクターやスクリーンを追加購入。また、市民一人ひとりが豊かな人生を送るための文化芸術の振興のために陶芸窯のリニューアルや藍窯の設置などの要望がある。優れた芸術文化に触れる機会の場として、また創出の場としても文化施設の特色を生かしながら、利用者ニーズを踏まえた魅力ある施設にしたいと考える。芸術普及活動は、地域文化施設にとって、どのような意義や効果を有しているのかを意識し運営をしていきたい。
その他特記事項	特になし。

担当課モニタリング結果		(所管課記載)
評価		施設が老朽化するなか、創意工夫をしながら管理運営が行われている。
指示事項		特になし。

7 昨年度の改善指示事項の対応

指示事項(何を、いつまでに)	担当・分担	対応状況(進捗・納期等)
特になし。	・市 ・指定管理者	
	・市 ・指定管理者	